

ギャラリー庭先の溜池の傍に、大きな野生の桑の木が1本そびえています。この木は毎年、沢山の桑の実をつけてくれます。去年は当たり年でした。枝をたたいて実を落とし、15キロもの桑の実が収穫できました。廣中シェフがさっそくジャムに加工しましたが、これが大好評でした。今年もジャムを期待したのですが、今年はカラスの襲撃に遭って、壊滅状態になりました。



桑の実がだめなら菜種があると、春先に咲き誇った菜種の収穫に取り組みました。枯れ木のような菜種の茎を刈り取って、菜種の枝を筵に包み込んで踏みつけますと、莢と一緒に小さくて丸い菜種が零れ落ちます。莢と種を金網で分離して菜種の出来上がり。約一斗ばかり収穫できました。これで来年も菜の花を楽しめます。

このように、ギャラリーも開館6年ともなりますと、いろいろな楽しみが増えてきます。常設展も九期目に入りました。今回は「脩の滝パートI」と題して、五〇号の滝の絵を重点的に陳列しました。壁いっぱいには掛けた滝の絵から初夏の滝の音が響いてくるようです。

注連替えて風新しき那智の滝

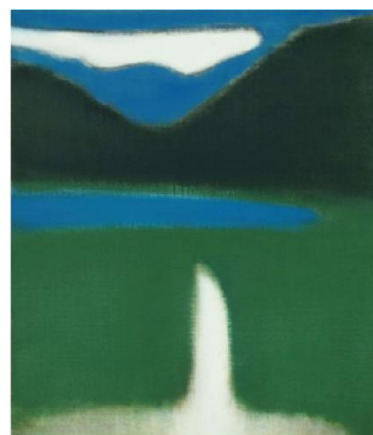
昨年の夏から、NHKのクルーが取材のため数度にわたって、ギャラリーに来訪しました。ギャラリーに集まってくるメンバーの様子をドキュメンタリー番組にしたいとのことでした。9月の観月会の様子をジックリとまる1日かけて撮影していきました。特に原田脩の作品と15夜のお月様の様子を念入りに撮影しました。



脩の滝
PART I

第九期常設展 2015年10月～

北は最上川にかかる白糸の滝や宮城県の秋保の滝、南は大分県椎谷の瀧まで全国の瀧をくまなく巡ってスケッチし、作品に仕上げました。とりわけ那智の瀧には思い入れが深く数多くの作品を残しています。確は京都で22回の個展を開催しました。今回はその時と併せて50号の大作を中心に瀧の絵を展示してみました。



原田脩記念 ギャラリー稲童

〒624-0022 福知山市稲童3202番 Tel/Fax: 0930-24-5611

【開館日】 土・日・祝日 【開館時間】 午前10:30～午後5:00 【入館料】 大人：200円 協力会員および関係生以下：無料 【ホームページ】 <http://www.gallery-inadou.org>

10月には五周年事業として、「能へのいざないパートII」を開催しました。出演は前回と同じく重要無形文化財総合指定保持者の観世流シテ方坂口師と同じく指定

保持者の幸流小鼓飯田師、今回は新たに売り出し中の若手シテ方坂口貴信師にも来ていただきました。天女に扮する坂口貴信さんが、実際に天女の能衣装を着けるところまで見せていただきました。



11月22日（金）7：30のゴールデンタイムにNHKのドキュメンタリー番組「美術館は秘密基地」が九州・沖縄のブロックに放映されました。あの時の撮影が、まさかこんな時間に25分もの番組になっているとは想像もつきませんでした。内容は仲間たちが美術館を協力して作り上げ運営している様子と、原田脩の人となりと作品をしっかりと表現したものでした。原田脩の作品は月を主に取り上げ、原田美恵子夫人の俳句「頭半分 月にとられし 男かな」を画面で紹介していました。観月会の様子をジックリ撮影していた理由がわかりました。



この番組終了の翌日から想定外の数のお客様が、九州各地から「テレビを見た」と詰めかけていただきました。私自身テレビ局で働いていましたが、撮るほうから取られる側に回ったのは初めてでしたし、テレビにこんなに影響力があることをあらためて知らされました。

この番組は好評だったようで、6月13日の「スタジオパークからこんにちは」で全国放送される予定でしたが、東京都知事の議会集中審議が急遽放映されたため、7月に延期となりました。放映の日時が決まりましたら改めてお知らせいたします。

また、原田脩作品集を新たに増刷しました。頒布価格は3800円ですが会員の皆様には3000円でお届けいたします。

おかげさまでギャラリーもこの8月には6年目を迎えます。ここまで来れましたのも、ひとえに協力会の皆様のお力添えによるものです。

6年目の今年もみんなで力を合わせて、より良いギャラリー運営をいたします。引き続きご協力・ご支援をお願いいたします。

ギャラリー稲童館主 植田 義浩